治療計画書

療法名　ビラフトビ+メクトビ+アービタックス　療法　1サイクル 1 週

疾患名　がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

注射/内服/放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	デキサート	6.6 mg	点滴	30分	●							●							●							●						
		生理食塩液	100 ml																														
注射	2	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●							●							●							●						
注射	3	アービタックス≪初回≫	400 mg/㎡	点滴	2時間	●							●							●							●						
		生理食塩液	500 ml	全量500mlに調製																													
		アービタックス≪2回目以降≫	250 mg/㎡	点滴	1時間																												
		生理食塩液	250 ml	全量250mlに調製																													
注射	4	生理食塩液	100 ml	点滴	1時間	●							●							●							●						
					2回目以降																												
					30分可																												
注射	5																																
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1	レスタミン	50 mg	アービタックス投与30-60分前		●							●							●							●						
内服	2	ビラフトビ	300 mg	1日1回		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内服	3	メクトビ	90 mg	1日2回		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内服	4																																
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
放射線			Gy																														

特記事項

アービタックス
・至適濃度：0.83mg/ml～4mg/ml
・治療開始前、治療中、終了後に電解質(Mg、K、Ca)のモニタリングを行う。
・皮膚障害対策は「適正使用ガイド」を参照
・infusion　reactionを発現することがあるため，アービタックス投与中及び投与終了後は少なくとも1時間は観察期間（バイタルサインをモニターするなど）を設けること。
※詳細は添付文書参照

減量規定

薬品名	アービタックス※	メクトビ	ビラフトビ		
標準投与量	250 mg/㎡	90 mg	300 mg		
1段階減量	200 mg/㎡	60 mg	225 mg		
2段階減量	150 mg/㎡	30 mg	150 mg		
3段階減量	中止	投与中止	投与中止		